

第18回広陵町地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日 時：平成30年6月19日（火）10：00～11：20

場 所：広陵町役場3階大会議室

出席者：山村会長、乾副会長、堀川委員、中井委員、松尾委員（代理：小西様）、西村委員（代理：吉田様）、永田委員、霜永委員（代理：布田様）、島中委員（代理：今谷様）、山口委員（代理：丸山様）、後藤委員（代理：米田様）、藤井委員（代理：鋤田様）、古田委員、吉田委員

欠席者：金口委員、吾妻委員、吉崎委員

1 開会進行（事務局）

会議成立及び欠席者の報告。

2 会長あいさつ

○会長

先日大きな地震があり、大阪府北部では震度6弱を計測し、自然災害の恐ろしさを痛感した。広陵町は大きな被害はないが、地震発生から1週間は余震が心配である。関西の公共交通機関も地震の影響で、運行停止をしている公共交通があり、大混乱している。どうしても公共交通は自然災害に弱い。安全第一で運行を止めることは、やむを得ないことである。

3 議題

（1）地域内フィーダー系統生活交通確保維持計画（案）について

【事務局説明】

資料1の説明。

【質疑応答・意見交換】

○委員

フィーダー系統の計画の表5の補助上限額の算定方法を訂正してほしい。

広陵町は「対象人口×120円×0.7+200万円」となる。

○事務局

訂正する。

（2）平成30年度安心して暮らせる地域公共交通確保事業アンケートについて

【事務局説明】

資料2、3の説明。

【質疑応答・意見交換】

○委員

前回のアンケート調査対象数は2,500となっている、今回は2,000となっているが何故か。

○事務局

広陵町と同規模自治体でも同調査における調査対象数が2,000であるため2,000とした。

○委員

アンケートは、前回と比較できるような内容になるのか。

○事務局

できるようにする。

○会長

アンケート項目・内容は審議するのか

○事務局

事業者は7月の初旬に決まる。しっかりと打合せをし、内容を詰めていく。アンケート項目や内容については、書面決議か協議会を開催し決議するかはまた、通知をする。現実的に書面決議になると思う。

○会長

議会でも利用者の声をもっと協議会に反映できたらと話が出ていた。

○委員

部会の参加者は誰になるか

○事務局

町の活性化協議会委員や現実に利用している人の声をいれてもいいかと思う。方針としては、利用されている方々

たとえば、主婦、若い方（通勤・通学）、高齢者へ部会に参加いただけるよう方針を考えている。

○会長

意見の集約は、難しい。利用していない人、利用したいけどできない人の意見も必要では。

○委員

赤字の路線バスは、大和高田市も負担をしているのか。

○事務局

大和高田市、広陵町で負担している。

○委員

行きはよいが帰りが帰れないという声を良く聞く。意見を聞きすぎても不便になる。

地域担当職員制度を利用して、地域の声を聞くこともできるので検討してほしい

○会長

便利にすればするほどお金がかかる。自分事で物を進めるとお金がかかる、みんなで考えていきたい。

4 その他

○事務局

次回の会議は、次回の協議会は11月頃を開催することを予定している。

5 閉会

○会長

本日は、お忙しい中協議いただき、感謝する。